

青山健一 展 「ぺたぺた」

会期：2017年7月8日(土)-7月23日(日)

時間：11:00 - 19:00 月曜休廊

企画：住吉智恵 (TRAUMARIS)

会場：EARTH+GALLERY

〒135-0042

東京都江東区木場 3-18-17



【関連イベント】

- ・7月8日(土) 18:00 - 21:00 オープニングレセプション
- ・7月16日(日) The Space Baa ライヴ 出演：不破大輔(渋さ知らズ)、辰巳光英(渋さ知らズ)、jimanica
- ・7月22日(土) 山フーズ × 青山健一 ワークショップ

世界を股にかけるフリージャズオーケストラ「渋さ知らズ」のメンバーであり、舞台美術家としても活躍する画家・青山健一。TRAUMARISは通称・アオケンこと青山の、2011年、2013年に続く3回目の個展を企画いたします。

会期中は、元・舞踏家のフードアーティスト・山フーズとともに独創的な料理のワークショップが開催されます。また今回も、渋さ知らズオーケストラきっての気っぷのいい男たちが、アオケンの絵の世界に引き寄せられたライヴパフォーマンスを予定しています。

政治を信じる人々は

神を信じる人々に似ている。

かれらは曲ったストローで風を吸っている。

『ブコウスキー詩集』より

2011年は、震災後の不安と憤懣の日々、なぜか心に響いた酔いどれ詩人チャールズ・ブコウスキーのぶっきらぼうでやけっぱちな言葉を、絵画の展示に織り込むことを試みた。

2013年は、作家の分身ともいえるガイコツが、清々しいほど荒涼とした風景に「ポツネン」と立ち尽くし、その無欲な空洞感に訪れる人を迎え入れた。

そして2017年、彼は相も変わらず毎日絵を描き続け、音楽やダンスの朋友たちと舞台を創作している。

本展では、画家の発想は、この世界を構成するひとつの部品であるともいえる自身の絵画から出発し、果てしなくマクロに膨張していった。

絵画の成り立ちを知るため、一筆ごとに描く過程を撮影するストップモーションアニメーションを制作。そこから、ぺたぺたと塗っては貼る絵の具とステッカー(のガイコツ)が織りなすレイヤー、ひいては世界の表層と深層との関係性にまで想像を広げながら、あくまで創作の基点は説明不要の現在地に立脚する。

かけひきのないこの正直さこそ、青山独自の制作態度といえるだろう。

ここで企画者はあえて曲解して、ふたたびブコウスキーの言葉に立ち返る。

政治を信じる人々は

神を信じる人々に似ている。

かれらは曲ったストローで風を吸っている。

『ブコウスキー詩集』より

世界の表層から深層へと風が吹き抜けるとき、政治や規制といった後付けの通路は、時として流れを変え、実相を歪曲させる。表層からは見えない、世界を構成する部品のひとつひとつに、その風は届かない。アスファルトの上でいくら足腰を鍛えたとしても、世界は息のしづらいままだ。

いまここに風が通りぬける精神の空洞が必要なのだ。

住吉 智恵 Chie Sumiyoshi

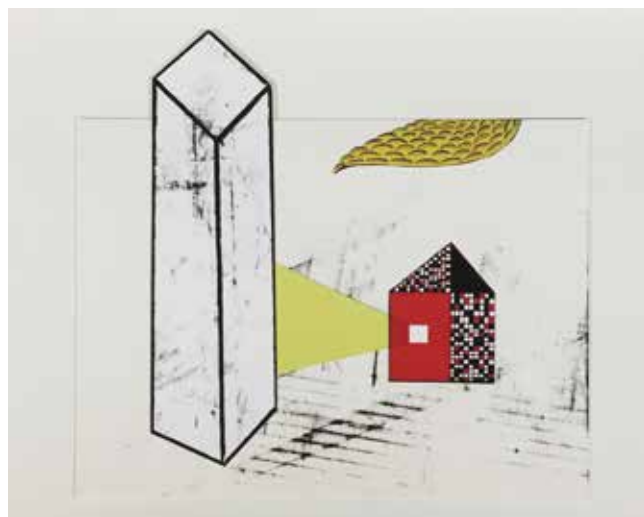
TRAUMARIS アートプロデューサー・ライター

【開催概要】

- 展覧会タイトル：青山健一展「ペタペタ」
- 会場：EARTH+GALLERY
- 会期：2017年7月8日(土)-7月23日(日)
- 休廊：月曜日
- 時間：11:00 - 19:00 (イベントは 22:00 まで)
- 住所：〒135-0042 東京都江東区木場3-18-17
- アクセス：東京メトロ東西線木場駅より徒歩7分
半蔵門線・大江戸線清澄白河駅より徒歩15分
- TEL：03-3630-1655
- URL：http://earth-plus.net
- 展示作品(予定)：スロップモーションアニメ映像新作
ステッカーシリーズ、F4号×70点
F20号×4点、F100号×2点

参考映像／渋さ知らズのライブ用に編集されたものです。

<https://youtu.be/qsQty3VHPdE>



雑記

絵を描きながら、この絵がどのような壁に設置されるのか？をイメージすることがある。

さらに、絵を設置された壁は、どのような建物の壁なのか、その建物はどのような地域に建っていて、その地域はどのような国の〜と続く。

最終的に、この絵はどのような宇宙に設置されるのか？に行き着く。なるほど、描き始めてしまった絵は、望まずともこの世界を構成するひとつの部品になるというわけだ。

自分の手によって作られる世界の部品。

それをより深く知るため、一筆ごとに撮影し、ストップモーションアニメーションを作った。

すると絵の表層には現れない色やカタチの衝突が記録されていて、それは大袈裟に言うと火山の噴火で隆起した岩が山になったり、溶け出した氷が海面を上昇させて大地を沈めたりするように見えた。

絵の下には、また別の世界が層になって記録されていた。

ふと、完成した絵にガイコツのステッカーを貼ると、大地の表層アスファルトの上をヒョロヒョロ歩く自分のようだった。



青山健一

作家プロフィール

青山健一 / 美術科

Kenichi Aoyama / Artist

東京都出身。石川県金沢市在住。

1995年、美術家としての活動をはじめ。

既存のギャラリーはもとより、廃ビル、ライブハウス、劇場、屋外公共スペースなど様々な空間と対峙しながら絵画、映像、インスタレーションなどの作品制作を行う。

1997年「渋さ知らズ」に美術、映像メンバーとして参加。

以降、国内ライブや大型音楽フェス、海外ツアーまで全舞台美術制作を担当。

即興性を重視した独自の映像パフォーマンスで様々な表現者とのコラボレーションライブを多数発表。

BEAMST、geewhizなどのアパレルへのイラスト提供、書籍装画、絵本、オリジナルアニメーションや近藤良平やスズキ拓朗をはじめとするパフォーマーの舞台美術、映像など様々な活動を展開している。

■展示に関するお問い合わせ■

EARTH+GALLERY 〒135-0042 東京都江東区木場 3-18-17

tel : 03-3630-1655 mail : info@earth-plus.net

URL : <http://earth-plus.net>

担当：佐藤

